

第9回水稲病害虫発生予察結果(伊豆市内)



4月下旬～5月上旬田植えの早生品種(コシヒカリ・ひとめぼれ等)

【稲の生育状況と栽培管理について】

各地区では籾の登熟が進んでおり、巡回を行っている田んぼの積算温度は700℃を超えており刈取目安まで10日ほどとなっておりますが積算温度はあくまで目安となりますので、ご自身の田んぼの収穫日については実際の籾の状況を確認していただき刈取り時期の決定を行ってください。刈取りが早すぎると未熟米が多くなり、遅くなると未熟米は減り玄米量は増えますが着色米や胴割米の割合が多くなります、どちらの場合も米の品質検査では等級を落とす原因となりますので、適期刈取りに留意してください。

【病害虫の発生状況】

今回の調査ではカメムシの成虫や幼虫を確認しました。出穂が遅い方につきましてはカメムシの防除を行うようお願いいたします。

【早生品種の出穂後の積算温度について】

各地区の早生品種について、出穂期からの積算温度は以下の通りです。
コシヒカリの場合、出穂期から数えた積算温度が1,000℃となったら刈取日の目安となります。

(8月12日時点更新)

地区 温度・出穂	原保	門野原	北又	大平
積算温度(℃)	725	691.8	750.3	766.6
出穂期からの平均気温	26.8	27.6	26.7	27.3
出穂期	7/17	7/19	7/16	7/16
刈取日の目安	8/22	8/23	8/21	8/20

※積算温度と出穂確認日はJAが行っている、各地区の巡回圃場での計測値となります。

※刈取日の目安は現在の平均気温を積算し1,000℃となる日を設定しております。

5月中旬～下旬田植えの中・晩生品種(きぬむすめ・あいちのかおり)

【稲の生育状況・水管理について】

中生品種につきましては、出穂期となっております。カメムシ防除の薬剤散布を行うタイミングとなりますので遅れないように防除を行ってください。

晩生品種では幼穂が9.4cm程度となっており、早いものは数日で出穂し始めると予測されます。出穂期(田んぼの50%程度出穂)となりましたらカメムシ防除をお願いいたします。カメムシの防除方法につきましては第5回水稲病害虫発生予察結果をご参考ください。

【病害虫について】

今回の調査では早生の圃場でカメムシの幼虫が多く発見されているため、適期防除に努めてください。

前回の予察結果・栽培管理は
こちらからご覧になれます！
次回予察予定 8月19日(火)



作成日：令和7年8月13日

JAふじ伊豆修善寺営農経済センター

担当：竹村

電話：0558-72-4461